

テンブルトン新興国小型株ファンド

愛称：ライジング・フォース

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2023年8月22日～2024年8月20日
第 7 期 決算日：2024年8月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第7期末 (2024年8月20日)	
基準価額	17,717円
純資産総額	2,561 百万円
騰落率	+21.3 %
分配金合計 ^(*)	10円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。
(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

 <https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第7期：2023年8月22日～2024年8月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第7期首	14,609円
第7期末	17,717円
既払分配金	10円
騰落率	21.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ21.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

「ZOMATO LTD」（インド、一般消費財・サービス）や「INTERNATIONAL CONTAINER TERMINAL SERVICES INC」（フィリピン、資本財・サービス）などの保有銘柄が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

ブラジルリアルなどが対円で下落したことに加え、「DALMIA BHARAT LTD」（インド、素材）や「DAQO NEW ENERGY CORP」（中国、情報技術）などの保有銘柄が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2023年8月22日～2024年8月20日

> 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	324	1.950	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(182)	(1.096)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(136)	(0.822)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	324	1.953	

期中の平均基準価額は、16,590円です。

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

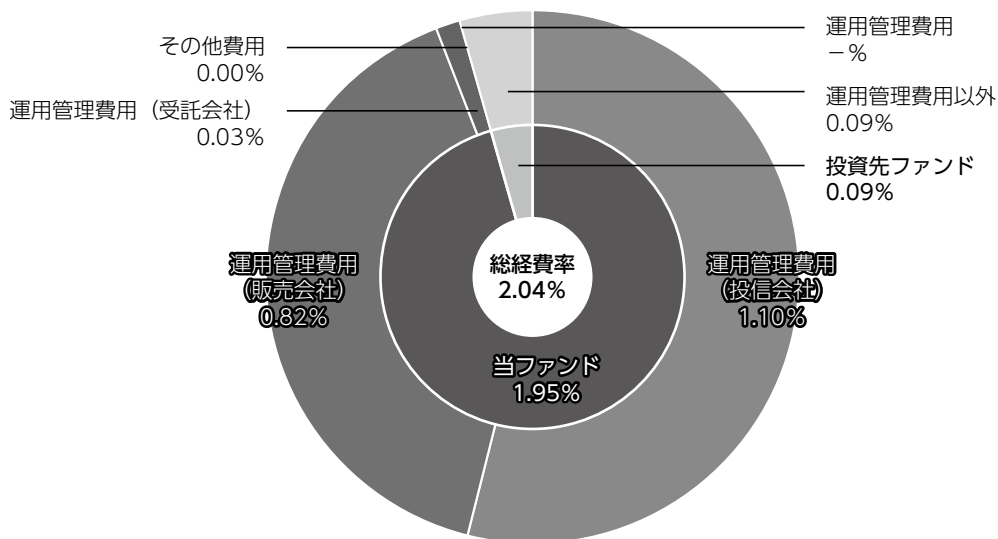
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.04%**です。



総経費率（①+②+③）	(%)	2.04
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.95
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.09

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年8月20日～2024年8月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、2019年8月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2019/8/20 期初	2020/8/20 決算日	2021/8/20 決算日	2022/8/22 決算日	2023/8/21 決算日	2024/8/20 決算日
基準価額 (円)	8,821	8,498	12,481	13,332	14,609	17,717
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-3.7	46.9	6.9	9.7	21.3
参考指数騰落率 (%)	—	4.8	45.8	7.9	15.5	20.3
純資産総額 (百万円)	5,594	3,898	3,462	2,632	2,359	2,561

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第7期：2023年8月22日～2024年8月20日

投資環境について

▶ 株式市況

当期間のエマージング株式市場（米ドル建て）は上昇しました。

規模別では、小型株が大型株よりも相対的に大きく上昇しました。

▶ 為替市況

期間の初めに比べ、ブラジルレアルなどが対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、日銀による利上げを受け、期間末にはプラス圏となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ テンプレトン新興国小型株ファンド

ルクセンブルグ籍の外国投資法人であるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）JPY）への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）JPY）

新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の株式等へ投資を行いました。銘柄選定にあたっては、徹底的な調査活動による長期業績予想に基づき、独自に算出した企業の適正価値に対して割安と判断される銘柄に投資をしました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

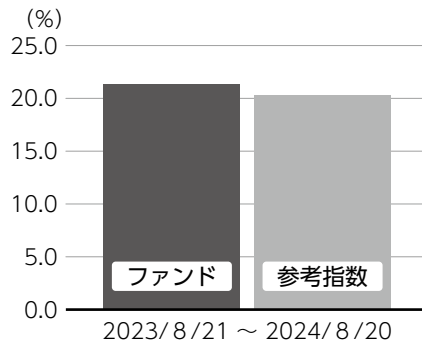
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期 2023年8月22日～2024年8月20日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.056%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,717

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ テンプレートン新興国小型株ファンド

ルクセンブルグ籍の外国投資法人である
フランクリン・テンプレートン・インベ
ストメント・ファンズーテンプレートン・エ
マージング・マーケット・スモラー・
カンパニーズ・ファンドの円建ての投資
信託証券（クラスY（Y d i s）J P
Y）および証券投資信託であるマネー・
マーケット・マザーファンドへの投資を
行います。

▶ フランクリン・テンプレートン・イン ベストメント・ファンズーテンプレ ートン・エマージング・マーケット・ スモラー・カンパニーズ・ファン ド（クラスY（Y d i s）J P Y）

インフレ圧力が弱まる中、各国の中央銀
行が向こう数カ月間で利下げを行うとの
確信が強まれば、小型株は大型株をアウ
トパフォームする可能性が高いとみてい
ます。小型株は大型株より財務レバレッ
ジや営業レバレッジが大きい傾向があり、
経験則から考えると、利下げ効果は大型
株より小型株のほうが大きくなることが
予想されます。また、米国の大統領選が
近づく中、貿易摩擦が激化しています。
結果はなお不透明ですが、運用チームで
は、米国の通商政策に変化があったとし
ても新興国の対応力はおそらく以前に比

べ改善していると考えています。

引き続き、新興国の株式等のうち、主と
して新興国で登記されている小型企業
の株式等へ投資を行います。また、事業活
動の中心が新興国である小型企業の株式
等や、新興国で登記されている小型企業
への出資を通じて実質的に主な事業活動
を新興国にて行う小型持株会社の株式等
にも投資をする場合があります。銘柄選
定にあたっては、徹底的な調査活動によ
る長期業績予想に基づき、独自に算出し
た企業の適正価値に対して割安と判断さ
れる銘柄に投資します。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期
金利は低位安定した推移を想定していま
す。以上の見通しにより、コール・ロー
ン等への投資を通じて、安定した収益の
確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・ 委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UF Jアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)
- ・ 投資先ファンドの申込受付不可日変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2024年1月1日)

▶ その他

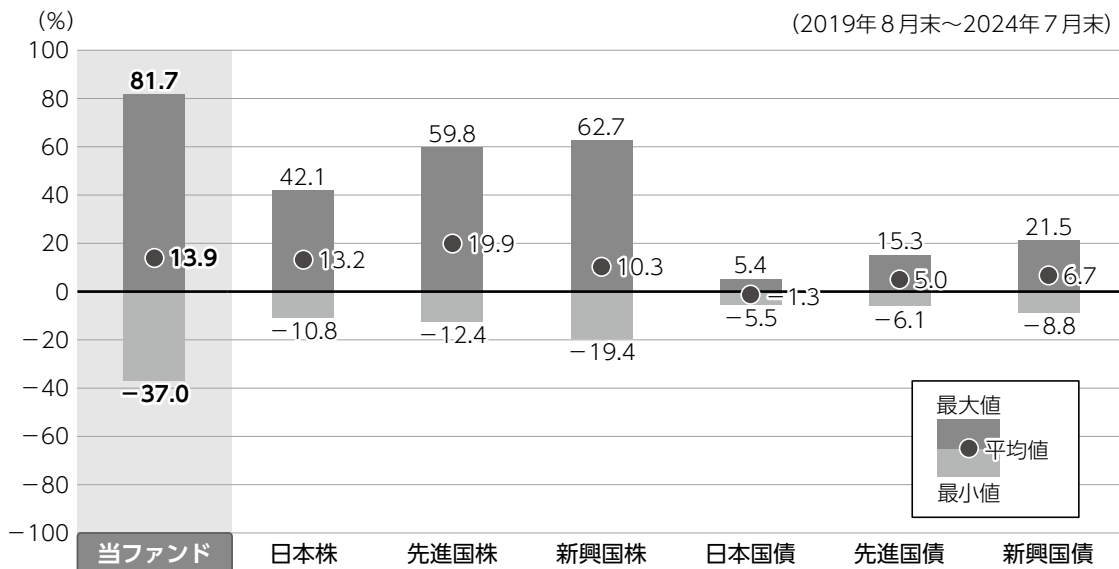
- ・ 該当事項はありません。

* 本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2027年8月20日まで（2017年8月31日設定）
運 用 方 針	外国投資法人であるフランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）への投資を通じて、主として新興国の小型株式等（預託証券を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	■当ファンド フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	■フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y） 新興国の株式等（預託証券を含みます。以下同じ。）に投資を行います。新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の株式等へ投資を行います。また、事業活動の中心が新興国である小型企業の株式等や、新興国で登記されている小型企業への出資を通じて実質的に主な事業活動を新興国にて行う小型持株会社の株式等にも投資をする場合があります。
	■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。
運 用 方 法	新興国の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分 配 方 針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年8月から2024年7月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年 8 月20日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド		(組入銘柄数：2 銘柄)
ファンド名	第 7 期末 2024年 8 月20日	
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド (クラス Y (Y d i s) J P Y)	99.4%	
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%	

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

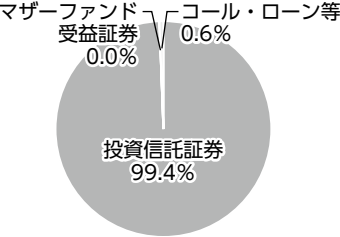
純資産等

項 目	第 7 期末 2024年 8 月20日
純資産総額 (円)	2,561,461,732
受益権口数 (口)	1,445,755,124
1 万口当たり基準価額 (円)	17,717

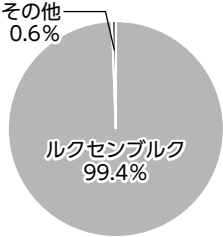
※当期中において追加設定元本は74,405,878円
同解約元本は 243,485,791円です。

種別構成等

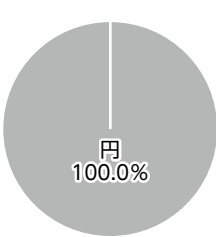
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が 5 %未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2023年6月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Ydis）JPY）

基準価額の推移

2022年6月30日～2023年6月30日



※上記には、分配金が含まれていません。

基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2022年7月1日～2023年6月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：78銘柄）

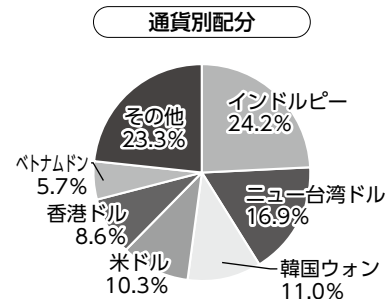
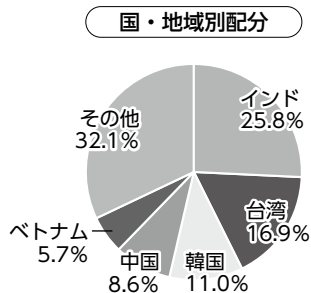
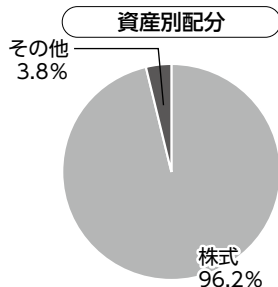
	銘柄	種類	国・地域	比率(%)
1	BAJAJ HOLDINGS & INVESTMENT LTD	株式	インド	5.5
2	FEDERAL BANK LTD	株式	インド	2.9
3	NOVATEK MICROELECTRONICS CORP	株式	台湾	2.8
4	FPT CORP	株式	ベトナム	2.7
5	REDINGTON LTD	株式	インド	2.6
6	DALMIA BHARAT LTD	株式	インド	2.5
7	SYNNEX TECHNOLOGY INTERNATIONAL CORP	株式	台湾	2.4
8	MERIDA INDUSTRY CO LTD	株式	台湾	2.3
9	INTERNATIONAL CONTAINER TERMINAL SERVICES INC	株式	フィリピン	2.3
10	POYA INTERNATIONAL CO LTD	株式	台湾	2.3

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※国・地域はフランクリン・テンプレートン独自の判断により分類したものです。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域はフランクリン・テンブルトン独自の判断により分類したものです。

968469

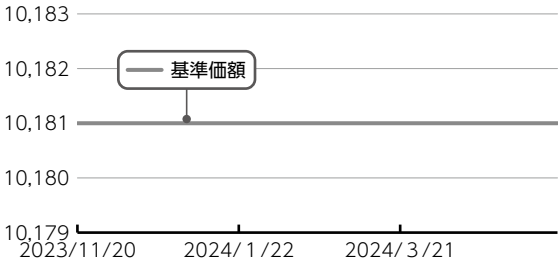
2024年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2023年11月20日～2024年5月20日
(円)



1万口当たりの費用明細

2023年11月21日～2024年5月20日
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

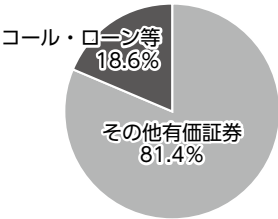
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	マルベニ 240521	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	74.0
2	コスモエネHD 240521	其他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.4
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

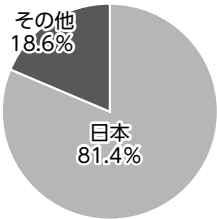
種別構成等

資産別配分



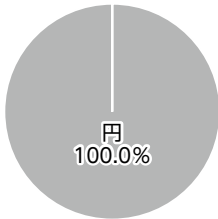
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

国・地域別配分



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

通貨別配分



指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）』について

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の小型株式で構成されています。

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（ネット配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント